

びざん



11
月号



JA NEWS 2021 NO.630

表紙写真は、東部管農経済センターカリフラワー部会 池田昭夫さん(70)。

現在、栽培面積3畝で、妻裕子さん(65)、長男慎太郎さん(38)と共に作業を行います。

栽培のこだわりは、小さなうちから一つ一つに周りの葉を折ってかぶせておき、変色を防ぐこと、花蕾がスレに非常に弱いので、収穫時、花蕾に触れないように手間暇をかけ作業することです。市場での絶大な信頼を持つ「華てまり」のブランド維持のため、次世代の生産者にも知識や技術を受け継いでいってもらいたいと願う池田さん。

「先輩方から受け継いだ伝統があるから今がある。若手生産者にも、カリフラワーの生産だけで生計を立てることができるよう、夢を持って農業をしてほしい。」

5年前まで少年サッカーの監督をしており、現在も4、5kmの散歩等で健康管理を行っているという池田さん。

来年のカタールで開催されるFIFAワールドカップには行けないので、5年後は裕子さんと二人で開催地へ渡航し、スタジアムで一緒に観戦することが一番の夢だと活きとした笑顔で話してくれました。

カリフラワー出荷始まる

カリフラワー部会では9月21日からカリフラワーの出荷を開始しました。現在、部会では生産者約60名で約50畝を栽培しています。主に、輝月、福月、ホワイトベル、バージロード等の品種を栽培しています。出荷の最盛期は12月～1月。今年度の予定出荷量は1,100トン、目標販売金額は2億8千万円を目指します。

東部管農経済センター小谷拓也職員は「コロナ禍で消費のニーズが変わりつつある中、角度を変えてもっと親しみやすい商品になるような、消費拡大に繋がるPRの方法を考えていきたい。」と話しています。

写真1 出荷されたカリフラワーの品質を確認する小谷職員



ブロッコリー出荷始まる

北部管農経済センター予冷集出荷場では、9月下旬から秋冬ブロッコリーの出荷が始まりました。

今年産は8月中の長雨の影響から定植作業が遅れ、出荷時期は例年より少し遅れましたが、台風の影響もなく、品質は上々とのこと、非常に順調な滑り出しとなりました。10月1日は56トン(1ヶ20株)、約300ヶの出荷がありました。同センターでは、品質保持のため、収穫から出荷までの品温管理に心血を注いでいます。製氷ラインでの氷詰め、高品質なブロッコリーの出荷に努めています。来年6月下旬までの出荷予定です。

同センター三木将志係長は「今年度は販売目標単価340円/kg(1ヶ2,040円)を目指し、有利販売していきたい。」と意気込んでいます。

写真2 予冷集出荷場の製氷ラインで氷詰めする職員



「すだち」

消費拡大

もって全国に
広めよう!



南部管農経済センターは、コロナ禍の影響から外食企業や宿泊施設からの「すだち」の需要が冷え込む中、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会の協力のもと「徳島県産高酸柑橘等の産地強化支援推進事業」を活用し、9月18日～19日の2日間、関東地区のイトーヨーカドー2店舗にて消費拡大のため、キャンペーンを行いました。買い物に訪れた消費者は、普段に比べてリーズナブルに購入できるということで、店頭は大盛況だったとのこと。



9/21 「甘姫」品種検討会 「優良な系統の追求を」



写真＝試験品種の評価を行う部会役員

東部営農経済センター甘藷部会は9月21日、なると金時「甘姫」の品種検討会を開きました。同部会の育苗は、色合いや形状・食味を高品質にするため、部会で選抜したものを業者に委託、メリクロン苗から芋ツルを確保し、挿苗。独自に系統選抜して試験栽培を繰り返します。市場から評価される品種を作り、他産地に負けない産地づくりを目指し、毎年秋に品種検討会を開いています。

今年は5月7日に挿苗した圃場で、原種から選抜した品種や独自系統と異なる品種など、11品種をツルのついたまま収穫しました。品種検討会では、成り数や肥大、形状、色沢、肌質などを審査し、試験品種の取捨などを協議しました。

同部会の伊勢直樹部会長と販売及び営農指導を担当する佐藤徹也職員は「近年の温暖化や猛暑、豪雨等の気候変動が進む中、栽培にも優良な系統を追求し、選択していくことが栽培の作業性向上や生産者の所得に直結するので妥協できない。」と意欲を燃やします。

JA徳島市の
管内の情報をお届け

トピックス



※マスクの着用の無い写真が含まれますが、高温、多湿の環境下でのマスクの着用は、熱中症のリスクが高くなることから、屋外において十分な距離が確保できる場合にマスクを外しております。

9/10 子ども食堂でお弁当配布 地元産野菜を提供「地産地消メニュー味わって」



当JAはJA共済連徳島との協賛により、9月3日、10日の両日、徳島子ども食堂ネットワーク等が運営する子ども食堂に、直売所の野菜等の食材を寄贈しました。この取り組みは、地産地消をすすめる同JAが次世代を担う子どもの楽しい食事を提供する同団体に賛同し実現したものです。

出張料理を提供している「ソライロテーブル」がメニューを監修し、鳴門金時のコロケやレンコンのハンバーグなど地元の野菜が使用されたお弁当をコロナウイルス感染対策として、会場の入り口で1家族ずつに配布しました。

お弁当は、子どもには無償提供し、大人は1食につき300円以上の募金形式として、会場となった飲食店（徳島市南佐古7番町）に集まった家族に100食の提供を行いました。

子どもたちは配布されたお弁当を見て「美味しそう。早く食べたい。」と目を輝かせていました。

当JA小角久雄参事は「地元産の食材を美味しく味わってもらうことで、食と農業の大切さを一人でも多くの子供たちに伝われば嬉しい。」と話しました。

写真＝10日、子どもたちにお弁当を配布する徳島子ども食堂ネットワークメンバー⑥と小角参事⑥

9/21 池田薬草株式会社 社員がすだちの収穫体験



すだちの果皮から抽出、精製したエキス粉末「Sudachin【スタチン】」やすだち精油を製造・販売する池田薬草株式会社（本社・工場：三好市）の社員5名は9月15日から18日、佐那河内村を訪れ、原料となるすだちの収穫体験を行いました。近年、担い手不足のため、すだちの収穫量が減少する中で、少しでも収穫量のプラスになることを期待して活動を実施し、今年で3年目になります。毎年、参加者全員が収穫作業の大変さを体感し、すだち原料のありがたみを知ることのできる貴重な体験になっているそうです。

同社は9月30日に「Sudachin」のヘルシー・フォー（四国健康支援食品制度）認証を受け、現在、機能性表示取得に向け活動しており、今後の飛躍が期待されています。同社 三浦 宏之 代表取締役は「徳島県は糖尿病での死亡率が全国1位となっていることから、県民の健康増進にも寄与したい。」と話されました。当JA 営農経済部 河野勝淑部長は「徳島県特産のすだちが食品以外でも様々な分野で利用されることにより、農家の生産意欲に繋がっていくことを期待している。」と話しています。

9/21～ 小学校で稲刈り体験学習

9月21日、多良支所青壮年部は、部員の岩崎政史さんの圃場で徳島市立波野小学校5年生の児童を対象にあきさかりの稲刈り体験を実施しました。児童は、高曾根督也部長、岩崎さん、福高和宏さん、赤坂耕輔さん、武内雅弘さんの指導のもと体験学習を行いました。児童らは一生懸命に作業し、一束の稲から約千粒の米が実っていることに驚いていました。

同日、加茂支所管内では加茂名小学校5年生の児童らがあきさかりの稲刈りを行い、青壮年部 佐野孝夫さん、原田和彦さんらが刈り方の指導を行いました。

また同日、応神小学校では、全校生徒が交代制で新開英実さんの圃場でコシヒカリの稲刈りを行いました。

9月29日には、宮井小学校5年生が高曾根督也部長、瀬畑俊夫さん、福高和宏さん、坂口太一さん、赤坂耕輔さん、武内雅弘さんの指導のもと体験学習を行いました。

4校とも、5月末から6月初旬に自分たちで田植えをした玄米を収穫しました。収穫した玄米の使い道はコロナウイルスの感染状況を鑑みて検討していくとのことです。



波野小学校5年生



応神小学校全学年



加茂名小学校5年生



宮井小学校5年生

「農家の方々は身体が資本!! 小さな配慮も大切に。」

第3回：東部営農経済センター
澤口知宏 営農指導兼経済渉外員



川内地区管内担当の澤口知宏営農指導兼経済渉外員は、組合員の方々の圃場に毎日出向き奮闘しています。勤続11年。長年、組合員の方々とコミュニケーションから培ったものがたくさんあるという澤口渉外員は、「生産者の方々のタイムスケジュールを考慮し、それぞれの適切な時間帯を選び訪問することに気を配っています。農業に従事されている方々は、「1日の労働時間が長く、“身体が資本”のため、休んでいただくことも仕事の一つ。」との信念は、生産者の方々への敬意の念があらわれています。

「今年、営農指導員の資格を取得し、生産者の方々の栽培履歴を確認し、それをベースにした指導を心がけるようにしています。

病害虫の発生状況を確認するため圃場を巡回し、生産者の方々の立場に立って、アドバイスも行いますが、じっくり生産者の方々と会話することで、その圃場に応じた適切な薬剤等を、話し合いながら一緒に決めることを大切にしています。」

趣味は野球観戦。学生時代は野球部に入学しており、現在も地元の少年野球チームの応援をしています。

業務においては、「何より、東部営農経済センター職員が一丸となり目標に向かってお互いをサポートしあえる体制にいつも助けられています。今後も組合員の方々の農業所得向上のために努力を続けていきたい。」と熱意にあふれています。



▲◀川内甘諸部会 伊勢直樹部会長を訪問。この日は、9月時点で例年より多発していたヨトウムシの防除、対策について話し合いました。

▶カリフラワー部会 森仁志副部会長を訪問。定植後の施肥相談を受けました。



リモートで食育授業「ブロッコリーを植えてみよう！」



虫が苦手な人は、割りばしを使って取ってね〜!

北部営農経済センター 梶原景子 営農指導員は、9月17日に京都府立梅津北小学校5年生の65名を対象に食育活動を目的としてブロッコリーの定植体験のリモート授業を行いました。

梶原指導員は、JAの業務をはじめ、担当している仕事内容や、生産量が全国1位の徳島県産作物の紹介、ブロッコリーの出荷推移などについて説明し、楽しく学んでもらいました。ブロッコリーの定植、病害虫の予防、灌水や追肥、収穫時期について説明をし、児童は実際に校内の花壇にブロッコリーを定植しました。また機械を使った播種作業と定植作業、育苗ハウスの様子や、ブロッコリーが大きく成長している圃場の様子を撮影した動画を紹介しました。

児童からは虫が発生する時期や目安について質問があり、梶原指導員は「気温が高いと発生しやすいので、毎日観察するようにしてください。」と答えていました。また、児童から「ブロッコリーはなぜ形が木に似ているの?」「ブロッコリーはどうしてゴリゴリなの?」というユニークな質問にも、児童の目線に立ち回答していました。児童らは「品種によって収穫の時期が違うことを初めて知った。病気などに注意しながら大切に育てたい。」と話してくれました。花壇のブロッコリーの収穫予定は、11月下旬から12月上旬頃で、成長を楽しみに日々、観察していきたいとのことでした。



不適正な農薬使用を防ぎましょう!!

☑ 適用農作物を確認

農薬は製剤ごとに使用できる農作物が異なります。また、名前や形状が類似した農作物に使用できる農薬でも、使用したい農作物に使用できるとは限りません。使用したい農作物がラベルに記載されているか必ず確認しましょう。

☑ 使用時期を確認

農薬には「収穫〇日前まで」といった使用時期が定められています。農薬を使用する前に、必ずラベルの使用時期を確認し、収穫予定日までの日数が確保されているか確認しましょう。

農作物を収穫する前に、農薬の使用記録簿により農薬を使用した日から農作物を収穫するまでの日数が農薬のラベルどおり確保されているか確認しましょう。



農薬が適正に使用されないと、食品衛生法の残留基準値を超えて農薬が残留する可能性があります。

その場合、出荷した農作物は回収や廃棄の対象となります。

農薬の不適正使用を防止するため、日頃から農薬ラベルを確認し使用記録の記帳を行いましょう。

☑ 使用量・希釈倍数を確認

ラベルに記載されている使用量・希釈倍数を確認しましょう。

農薬を調製する時には、使用する農薬の量の計算間違いに注意しましょう。



☑ 使用回数を確認

農薬は、その含有する有効成分毎に使用できる総使用回数が定められています。使用記録簿には有効成分ごとの使用回数を記載し、農薬の使用前に使用記録簿とラベルにより使用回数を確認しましょう。

購入した種苗に農薬が使用されているかどうかを確認し、あらかじめ自身が使える農薬の使用回数を把握しておきましょう。

農薬適正使用情報

農薬の適正使用



農林水産省が、農薬を取り扱う上での注意すべき事項についてホームページ上で公表しています。

農業危害防止運動の実施要綱をはじめ、適正使用に関する通知文書など、より詳しい情報を入手することができます。

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/



みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。猛威をふるっていた新型コロナウイルスも、8月25日あたりをピークにその感染者数が急激に減少し、10月4日の感染者数は602人と、2日連続1千人を下回りました。同日東京都の感染者数は87人でしたが100人を下回るのは、昨年11月2日以来、約11カ月ぶり。4日までの1週間平均は196.7人で、前週の57.6%と、減少傾向が続いています。なぜこれほど急に感染がおさえられたかの理由については専門家もはっきり分からないようですが、新型コロナも風邪の一種ですので、寒くなるとまた感染が増えることは想像に難くありません。そうした中、新たな治療法が確立されつつありますのでご紹介します。

1. 抗体カクテル療法：今年の7月19日に厚生労働省が、新型コロナの治療薬として特例承認した薬剤です。二種類の抗体を混合して使用するためこの名前で呼ばれており、それら抗体がウイルスの表面タンパク質に結合して、ヒトの細胞にウイルスが侵入することを防ぎます。抗体カクテルは感染の初期7日以内、特に肺炎を起こしていない段階での投与により重症化を防ぐとされています。費用は国の負担となり自己負担はありませんが、数に限りがあるので投与対象を保健所が判断して使用しています。優先対象は、喫煙歴が長い方や基礎疾患を有している方となります。対象となり得る方で新型コロナ感染した場合は、初期投与しないと効果が望めませんのですぐに医師に相談して下さい。当初は入院しての投与となっていました。が、外来投与・在宅での投与の体制が整えられつつあります。ちなみに大阪府では新型コロナウイルスの重症化を防ぐ取り組みの一環として宿泊療養施設で療養する患者のうち、▽50歳以上で症状がある人や、▽肥満などで重症化のリスクがある人などに「抗体カクテル療法」を行う取り組みを進めていて、この度その結果を公表しました。それによりますと、先月21日までに宿泊療養施設で「抗体カクテル療法」を受けて施設を退所した306人のうち、症状が悪化しなかった人は296人と、全体の96%あまりに上りました。逆に、治療後に症状が悪化し、酸素投与が必要となって入院した人は10人で、3%ほどにとどまりました。年代別に見ますと、▽10代から30代の患者は全員が、▽40代と50代でも9割以上で症状が悪化しませんでした。一方、▽60代と70代では、症状が悪化しなかった人の割合は9割弱と、ほかの年代よりやや低くなったとのことです。

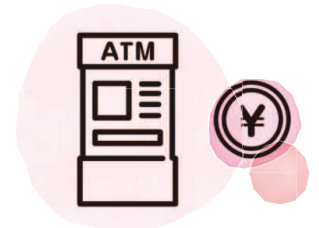
2. 内服薬・モルヌピラビル：軽症・中等症患者向けの内服薬で、米メルク社が開発しました。2時間おきに計10回、5日間服用するもので、1人あたりの治療費は約700ドル（約7万7千円）で、抗体医薬の3分の1ほどになりそうだとされています。臨床試験は米国や日本を含む世界各国で実施されました。軽症や中等症の患者775人を二つのグループに分け、それぞれにモルヌピラビルと偽薬を飲ませた場合、偽薬を飲んだ377人では約1カ月後までに53人が入院し、8人が亡くなりましたが、モルヌピラビルの385人では入院が28人と半減、死者もいなかったとのことです。この結果を受けて、同社は緊急使用許可の申請を目指しています。その他国内では、塩野義製薬が内服薬の治験を進めているところです。

ATMのお知らせ

硬貨が使用（入出金・両替）できる機能のついたATMになりました。

従来に加えて、500円、100円、50円、10円、1円玉がご利用いただけます。

- ・ 応神支所 9月13日～
- ・ 北井上支所 9月14日～
- ・ 南井上支所 9月15日～
- ・ 勝占支所 9月17日～
- ・ 渭東支所 9月22日～



島田清弁護士無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合もございます。

日時 第3土曜日 9:00～12:00

金融共済部へ事前に予約が必要

申込先 ☎ 088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

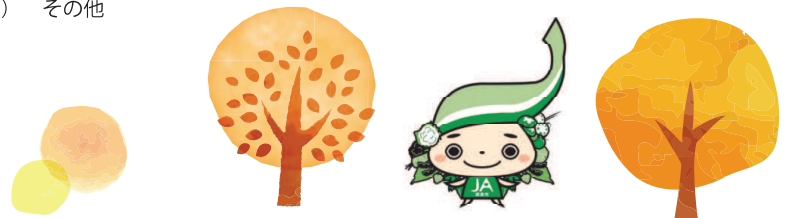
理事会だより（令和3年9月22日）

協議事項

- (1) JAグループ徳島合併協議会（仮称）への参画について
- (2) その他

報告事項

- (1) 令和3年度上半期末監事監査日程について
- (2) 令和3年度上期内部監査報告書について
- (3) 令和3年度みのり監査法人による期中監査①②の日程変更について
- (4) 債権回収について
- (5) その他



賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

日時 11月2日（火）、9日（火）、16日（火）
9:30～15:00

金融共済部へ事前に予約が必要

申込先 ☎ 088-622-6335

場所 本所1階ローンセンター